

平成24年度 第7回 大学運営連絡会議事要旨

日時 平成24年11月13日(火) 10時30分～11時57分

場所 大会議室

出席者 学長，瀬口理事，中島理事，岩本理事，宮崎理事，川上監事，福本文化教育学部長，濱崎医学部長，林田工学系研究科長，藤田農学部長，稲岡附属図書館長，遠藤教養教育運営機構長，事務局長

欠席者 平地経済学部長，門出海洋エネルギー研究センター長

陪席者 大島学長補佐，増子学長補佐

○ 学長から，前回の大学運営連絡会議事要旨の確認依頼があった。

【 報告・連絡事項 】

(1) 「佐賀大学の取り組み」更新の取り扱いについて

総務課長から，本件について，作成の経緯及び更新時期を4月，7月，10月，1月としていること，部分修正・訂正について，IR室員（総務部）を中心に行い，掲載原稿の取り纏め及び調整の上，広報室へ提供することとなっていること等の説明があり，各部局等へデータ更新のための資料提供について，協力依頼があった。

(2) 美術館設置事業の募金状況について

総務課長から，11月8日現在の美術館設置事業の募金状況について，教職員，個人・学外，法人・団体など寄附者の内訳，金額及び募金率等の報告と，今後とも各部局等において協力いただきたい旨の依頼があった。

(3) 第1回佐賀大学学長招待講演会の実施について

総務課長から，本件は，平成24年6月27日開催の役員会において，学長招待講演会実施要項を審議・了承済のものであり，今回，第1回目となる講演会を平成24年12月13日(木)16時20分から，理工学部6号館にて，国立大学法人東京外国語大学長である亀山郁夫先生を招待して実施を予定しているものである旨，また，講演開催については，本学教職員や学生をはじめ，大学コンソーシアム佐賀関係者，産学官包括連携協定機関，本庄地区自治会へも案内をすることとしており，併せて参加の依

頼があった。

また、学長から、次回以降の講師について、希望があれば申し出てほしい旨の発言があった。

(4) 第2回中期目標・中期計画実施本部会議について

岩本理事から、本件について、平成24年9月末現在の進捗状況報告について、各部局及び理事室からの報告に対し、企画理事室(増子評価室長)、教育室及び学術室と意見交換を行ったこと、今回のコメントは、進捗管理システムの達成水準に入力された内容を踏まえたコメントとしていることや計画ごとに進捗状況を1から7の番号により分類し、その内容等の説明があった。また、次回の報告(12月末)の際には、理事からのコメントに留意のうえ、年度末までに達成できるよう、根拠資料の提出も併せて協力いただきたい旨の発言があった。

次いで、増子評価室長から、第2期中期目標期間における評価についての詳細な報告があり、未着手の計画について、各部局において特に留意のうえ、取組みをお願いしたいこと等の発言があった。

さらに、増子評価室長から、機関別認証評価の受審に向けた対応について説明があり、中期目標・中期計画実施本部のもとに、作業部会を設置し対応すること、選択評価事項B(地域貢献活動の状況)及びC(教育の国際化の状況)の受審についての説明があった。

構成員から、本評価については、当初、地域貢献(社会貢献)の方針を制定していたと思うが、その方針の中に掲げている目標10~20項目は、今の現状と合わないものとなっており、まず最初に、早急な方針内容の見直しをすべきとの発言があり、学長から、それらを踏まえ精査をし、受審に向けて、準備をすすめる旨の発言があった。

(5) 平成23年度に係る業務の実績に関する評価結果について

岩本理事から、本件について、11月7日付で国立大学法人評価委員会から、項目別の評価結果4項目すべてにおいて、本学は「順調」である旨の確定報告があったこと、また、評価結果の分析として、「特筆すべき進捗状況にある」と評価された項目のある法人や「重大な改善事項がある」と評価された項目のある法人などについての概要説明及び本学としては教育面及び研究面で更なるポイント向上を目指していかなければならないとの発言があった。

次いで、増子評価室長から、評価の観点について、第1期目に比べて、メリハリをつけた評価をしようとしていることや戦略的・意欲的な目標・計画の設定状況等について説明があった。また、本学のIRの取組みは業務運営の効率化及び合理化として高く評価されていることの説明があった。

また、平成23年度年度評価において「やや遅れている」や「重大な改

善事項がある」と評価された大学の事例等が報告され、このようなことがないように注意が必要との発言があった。

学長から、本学の状況として、業務運営・財務の評価は高いが、教育・研究については努力が必要であり、大学の戦略として、教育・研究を伸ばし、いかにアピールするかが課題であること、また、大学の個性の伸長やすぐれた成果・チャレンジの要素等で評価が上がるため、各理事室や部局等において、本学の個性・特色となる取組みを、さらに検討してほしい旨の発言があった。

(6) 「大学ポートレート（仮称）」の対応について

岩本理事から、本件について、大学ポートレート（仮称）についての趣旨及びこれまでの検討経緯について説明があった。

また、先行実施として、大学評価・学位授与機構において平成24年度学校基本調査のデータを整理のうえ、平成25年3月を目途にウェブサイト上において公表することが想定されており、本学としては、提供依頼があった項目全てを提供することとしており、学内関係部局にも協力をいただきたい旨の依頼があった。

(7) 大学改革実行プランの対応について

学長から、本件について、本学として7月から取組みを開始したが、各部局からの協力により充実した内容のものとなっていることについて説明があった。また、他大学では、まだ課題を抽出していないような状況のところもあるようで、本学の取組みは大変進んでいるとの発言があった。

(8) 平成24年度第10回及び第11回拡大役員懇談会における議論の概要について

学長から、本件について、10月3日及び10月17日に開催された拡大役員懇談会の議論の内容について、その概要の報告があった。

(9) 佐賀大学における今冬の節電対策について

企画管理課長から、本件について、文部科学大臣政務官及び九州電力から節電協力の依頼があっており、本学としては、平成24年12月1日から平成25年3月31日を実施期間として、一昨年実績から5%以上（病院は2%以上）の削減を目標とする旨の説明と協力依頼があった。

(10) 平成24年度 日本学術会議九州・沖縄地区会議学術講演会の開催について

研究協力課長から、本件について、12月7日（金）14時から理工学部6号館において「高齢化社会の健康と医療技術」と題し、3つの演目で

講演会を開催する旨の案内があり、併せて関係各位へ参加依頼があった。

また、講演会開催前には、附属図書館会議室において、平成24年度日本学術会議九州・沖縄地区会議主催の科学者懇談会が開催される旨の報告があった。

(11) エコアクション21中間報告

安全衛生管理室長から、エコアクション21中間報告として、EA21の考え方、環境教育の充実としての各取組み、また、CO₂排出量に関する各部局別のデータ等について報告があった。さらに、1月に予定されている中間審査への協力依頼があった。

(12) 年頭挨拶における各理事室からの課題提出及び各学部長からの説明について

学長から、本件について、1月4日の年頭挨拶の際に、各理事室は平成25年中に実施する課題等を、各学部長及び全学教育機構長は、平成25年中に重点的に取り組む課題・意気込み等について説明をすることとしているので、A4-5枚以内のパワーポイント資料として、12月20日(木)までに総務課まで提出するよう依頼があった。

(13) その他

特になし。

【 各学部等からの報告・連絡事項 】

特になし。

【 その他 】

○学務部長から、10月に行った「学生マナーアップ推進運動」について、学生アンケートを行い341名の学生から回答あり、マナーアップの取組みについて、概ね好意的な意見であったこと、今後もこの活動を続け、更なるマナー向上につなげていきたいこと等の報告があった。

以 上